



東京PCB廃棄物処理事業だより (No.18)

定期点検工事が終了しました

前号 (No.17) でお知らせしました安全・安定操業の確立を目的とした平成21年度低濃度及び高濃度処理施設の定期点検工事を4月20日から6月18日の約2ヶ月間の工程で実施しました。この期間中にボイラーや電気設備等の法定点検、主要設備の定期検査や施設が停止していなければ出来ない工事などを実施しました。



安全大会の様子

(1) 安全大会の実施

この定期点検工事に先駆け、期間中の災害防止を図るために安全大会を行いました。これは日本環境安全事業株式会社の従業員だけではなく、運転管理会社従業員、点検・整備に係わる作業員等の全ての関係者が一同に集い、安全についての意識共有を図るために行ったものです。



(2) 低濃度施設の定期点検工事の実施

低濃度PCB廃棄物処理施設の定期点検工事を4月20日から6月5日にかけて行いました。

その主な内容は、PCB分解槽及びPCB分解液冷却タンクのオーバーホール※、そしてボイラー第1種圧力容器の検査等です。

PCB分解槽及びPCB分解液冷却タンクのオーバーホールは、一次蒸留器熱媒ヒーター(右の写真)のオーバーホールの他、分解槽内の清掃、部材の肉厚測定、攪拌機の清掃、内部の温水ジェット洗浄、内部ゴムライニングのピンホール検査等を行いました。

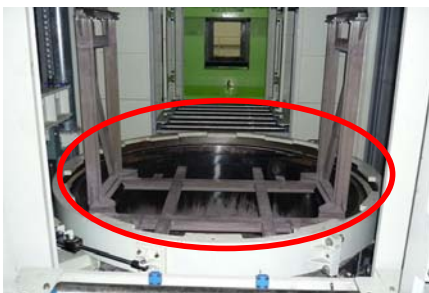
<※オーバーホール：機械製品を部品単位まで分解し清掃・組み立てを行い、新品時の性能状態に戻す作業>



低濃度処理施設の一次蒸留器熱媒ヒーターオーバーホールの様子

(3) 高濃度施設の定期点検工事の実施と設備紹介

高濃度PCB廃棄物処理施設の定期点検工事を5月18日から6月18日にかけて行い、その内容はボイラー・第1種圧力容器、熱交換器、加熱炉、コンデンサ解体装置などの前処理装置、除害装置の整備等と多岐に渡ります。その中から今回はトランス容器等洗浄装置、絶縁紙予備洗浄装置及びUFミルについてご紹介します。



高濃度処理施設の洗浄装置内部

まず、容器等洗浄装置ですが、これはトランス容器・コンデンサ容器等に付着したPCBを洗浄するためのものです。

この洗浄装置によって、PCBの除去、容器の外部への持ち出しが可能となり、鉄・銅・アルミなどをリサイクルすることができます。

洗浄の前工程で切断されたトランス容器・コンデンサ容器等を専用のカゴにいれ、洗浄装置の容器内で洗います。

左の写真はその洗浄装置の内部です。通常ご覧いただく際は、見学通路から洗浄装置全体の外見のみをご覧いただくのですが、個々の洗浄装置の内部は左上段の写真のような構造になっています。



高濃度処理施設のUFミル

次に絶縁紙予備洗浄装置です。これはコンデンサの構成部材である絶縁紙を取り出した後に、洗浄しやすい大きさに断裁し、これを洗浄するための装置です。

容器内に断裁した絶縁紙を投入し、洗浄溶剤で洗浄します。この後に加熱炉で加熱した絶縁紙をUFミル(左下段の写真)で更に細かくします。それに水分を加え、泥状(スラリー)にし、スラリーを水熱分解反応器に投入してPCBが含浸した絶縁紙を無害化処理します。

東京PCB廃棄物処理施設の運転状況について

当処理施設の平成21年4月～6月の処理実績は下表のとおりです。

この期間は高濃度PCB廃棄物、低濃度PCB廃棄物とも、全てのPCB廃棄物処理を止め、定期点検作業を行ったために処理台数は他の時期と比較して少なくなっています。

高濃度・低濃度区分	廃棄物種類	4月～6月 処理台数	操業開始からの 処理累計
高濃度PCB廃棄物	トランス類	39台	475台
	コンデンサ類	443台	4,333台
低濃度PCB廃棄物	柱上トランス絶縁油	143.4kℓ	4,632.1kℓ

*高濃度PCB廃棄物については処理に着手した台数を処理台数としています。

*連結コンデンサは内部に複数のコンデンサがあった場合も、1台としてカウントしています。

*東京事業所に係る安定器等の受入については、現在停止しております。

環境ISO14001マネジメントシステム運用開始



運用開始説明会の様子

当施設では平成22年5月にISO14001の認証取得を予定しています。

今年1月から環境マネジメントシステムの構築を進めてきており、システムが整備できたことから、この7月よりシステムの運用をスタートしています。

当施設の環境安全方針を基に、環境目的・目標を設定し、これを達成するための活動を組織的に計画的かつ着実に推進していくこととなります。そして、この運用実績を基に、今年9月には「内部監査」を実施し、また「マネジメントレビュー」(環境管理計画の見直し)など、一連の認証審査に必要な事項を実施します。

今後、ISO認証審査機関の「訪問調査」を10月に、平成22年1月に「初回審査」そして3月に「本審査」を受審する予定です。

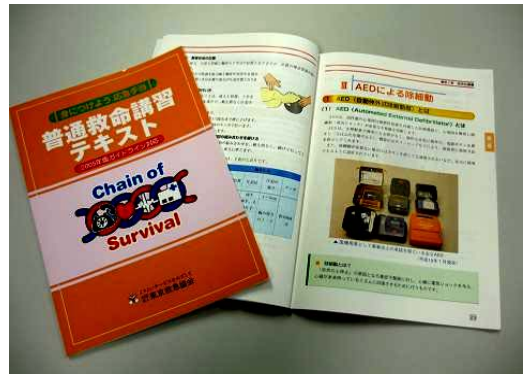
当施設はISO14001の認証を取得し、環境管理の更なる向上と信頼性の確保を図ります。

救急救命講習会を行いました

当施設にスタンド型のAEDを設置して約1年経過しました。幸いなことに今まで使用することはありませんでしたが、常に緊急時に使用できるように準備しておくことが必要です。

そこで、7月6日及び10日の2回、臨港消防署の方に講師としてお越しいただき、「普通救命講習」を実施しました。

応急措置の重要性をテキスト(右の写真)により学習した後、実際に人形や機器を使用して人工呼吸及び心肺蘇生の正しい方法やAEDの使用方法など、普通救命の必要性と具体的な救命方法を学びました。



当日使用したテキスト

クールビズ、実施しています

JESCOでは、環境保全活動の一環として、平成21年6月1日(月)から平成21年9月30日(水)の4ヶ月間、省エネルギー運動として、ノーネクタイ、ノー上着の励行や施設内の冷房設備の使用調節をしています。

クールビズ期間中に東京PCB廃棄物処理施設にお見えになる際は、ぜひ軽装でお越しください。



日本環境安全事業株式会社 東京事業所
〒135-0064 江東区青海二丁目地先(中央防波堤内側埋立地内)

TEL 03-3599-6023

<http://www.jesconet.co.jp/facility/tokyo/index.html>